

2024年10月1日

介護事業とストック事業の事業間連携による新たなソリューション提案を強化

超高齢化社会における課題解決に向けて「ウエルネス事業」を展開

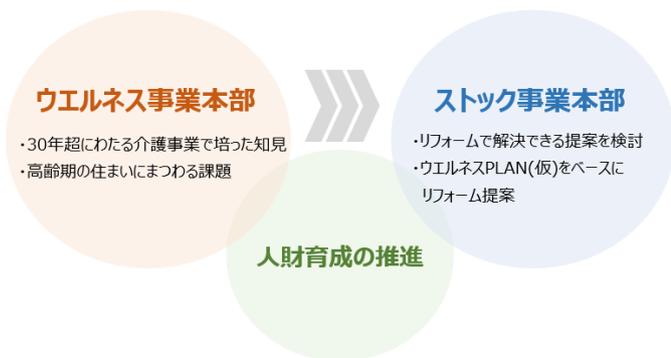
- ライフステージが変化したお客さまの視点に寄り添うウエルネス PLAN(仮)をベースにしたリフォーム提案を推進
- これまでの介護事業の実績・知見を活かし、新たにウエルネス事業としてストック事業と連携
- 今後も自分らしく、健康で暮らしやすい価値の高い住まいづくり・まちづくりを提供

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 作尾徹也）は、これまで介護事業として高齢者施設の運営などを通じて培ってきた知見と技術のさらなるバリューアップを図り、健康寿命の延伸を目的とした「ウエルネス事業」に事業名称を変更し、10月より提案内容の拡充をいたします。ライフステージが変化したお客さまの視点に寄り添ったウエルネス PLAN(仮)を取り入れたリフォーム提案をはじめ、ストック事業との事業間連携の強化により、もしまに備えるリフォーム提案メニューの充実を図り、超高齢化社会における住まいの課題解決に寄与し、自分らしく健康で暮らしやすい空間提案をまいります。

2023年現在、65歳以上人口の割合が世界でも突出する日本では高齢者の就業率^{※1}も年々増加、それに伴い健康寿命への関心が高まっています。住み慣れた自宅で自分らしくできるだけ長く暮らし続けるニーズは高く2023年の調査結果では45.8%^{※2}の方が終の棲家として自宅を選択しています。

ミサワホームでは「住まいを通じて生涯のおつきあい」という精神のもと、介護保険制度が始まる以前の1993年から介護付き有料老人ホーム「マザアス南柏」の運営を開始、30年以上にわたり介護事業を展開してきました。これまでに蓄積したノウハウや確かな介護の知見と技術を持つ人財をウエルネス事業に活かし、さらにはストック事業との連携を図ることで住まいのリフォーム提案を強化するための人財育成を推進。介護が必要になった場合の将来を見据えて元気なうちにリフォームを検討できるよう、50歳からのお客さまを対象にウエルネス PLAN(仮)を追加、より健康で長く暮らすためのリフォーム提案を推進します。

ミサワホームは、リフォームや医療・介護を組み合わせた新たなサービスを提供することで、自分らしく、健康で豊かに暮らすことができる価値の高い住まいづくり、まちづくりを提供します。



介護付き有料老人ホーム「マザアス南柏」

※1 総務省 令和6年版高齢社会白書

※2 内閣府 令和5年度 高齢者の住宅と生活環境に関する調査結果

以上

この件に関する問い合わせ先

ミサワホーム(株) 管理本部 広報・渉外部 コーポレートコミュニケーション課 阿部正成 森蓉子
TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838 E-mail : koho@home.misawa.co.jp